雄　博　会　理　念

◎ 理　　念

こころ温まる医療・看護・介護を安全に提供できるよう絶えず努力します。

◎ 基本方針

(1)患者様の人権を尊重し、誠意と責任をもって、患者様とご家族の立場に立った最善の医療・看護・介護を提供します。
(2)医療連携を推進し、地域に信頼され、地域に貢献できる医療機関であることに努めます。
(3)研修・教育を通して常に向上心を培い、質の高い最新の医療が実践できるように絶えず努力します。
(4)チーム医療をもって社会復帰や在宅を支援すると同時に、地域の健康増進のための医療サービスを提供します。
(5)患者様の心身の痛みに対し、最善の緩和医療を提供し、患者様とご家族を支援します。

◎ 患者様の権利

(1)患者様は、適切で質の良い医療を受ける権利を有します。
(2)患者様は、ご自分の医療の内容について知る権利とわかりやすい言葉で説明を受ける権利を有します。
(3)患者様は、人格を尊重されプライバシーを保護される権利を有します。
(4)患者様は、ご自分の医療の内容について自由に選択し決定する権利を有します。
(5)患者様は、ご自分の医療にかかる情報を入手できる権利を有します。
(6)患者様は、ご自分の受ける医療について他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利を有します。

救急告示病院
日本医療機能評価認定病院
特定医療法人 雄博会
千住病院

□病　院　□介護医療院
〒857-0026　佐世保市宮地町 5−5
TEL 0956-24-1010　FAX 0956-24-8590
https://www.1010hosp.or.jp

□訪問看護ステーション　□指定居宅介護支援事業所
〒857-0026　佐世保市宮地町 5−5
TEL 0956-23-9273　FAX 0956-23-9274

入院や介護サービスに関する

ご相談・お問合せはこちら！

地域医療連携室は、患者さん・ご家族からのご相談を承っております。お困りごとに親身に寄り添い、地域の医療機関や在宅サービスと連携して対応しています。どうぞお気軽にお問い合わせください。

受付時間:【平日】9:00〜17:00 【土曜】9:00〜12:00

地域医療連携室　☎0956-24-1010

【広報委員会】
《委 員 長》村井　春樹
《副委員長》川久保知恵
《委　員》千住　雅博・内田　恵美
田代美和子・甲斐　咲紀
原　　大・松永新之介
山北あゆみ
《印　刷》(有)プリメックス

あすなろ 秋季号

— 統括診療部長就任のご挨拶 —

統括診療部長　迫　　史朗

本年4月より千住病院統括診療部長に就任いたしました。皆さんのお役に立てるよう頑張りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

専門は循環器ですので、少し循環器の話題についてお話しさせていただきます。皆さんは心不全パンデミックという言葉をご存じですか。パンデミックとは、新型コロナウイルス、古くはペスト、コレラ、インフルエンザといった感染症が国境を越えて世界的規模で大流行している状態を意味します。

一方、近年この言葉が感染症以外の病気にも使われるようになってきました。その代表疾患が心不全です。この病気は高齢になるほど発症しやすく、高齢化が進む国々での患者の増加スピードや社会全体への影響の大きさから心不全パンデミックと呼ばれるようになりました。日本においては、1950年には5万人に満たなかった新規の心不全発症患者数は、2030年には35万人を突破するだろうと予測されています。また罹患患者数は、毎年約1万人ずつ増加しており、2030年には130万人に達するとされます。

心不全は良性疾患と考えられがちですが、5年生存率は、約50%と決して生命予後は良くありません。全がんの5年生存率よりも低い状況です。心不全の進行は4つのステージ(A、B、C、D)に分類されます。Aは高血圧、糖尿病、慢性腎臓病、肥満などの危険因子を有しますが、心不全を発症していない段階。Bは虚血性心疾患や弁膜症、心肥大などの器質的心臓疾患を抱えながらも心不全を発症していない段階。CとDは心不全を発症した後の段階になります(Cは治療が有効、Dは難治性)。心不全が一旦発症してしまうと再発しやすく、その都度身体機能が落ちて、治療が難しくなってきます。発症前のステージでしっかり予防することが大切です。そのためには高血圧や糖尿病、慢性腎臓病などの早期発見とコントロール、塩分に配慮した食事、禁煙、適度な運動などが重要になります。またかかりつけ医と専門医、介護サービスが連携した地域全体でのケア体制づくりも必要です。発症後はGDMT(診療ガイドラインに基づく標準的治療)の早期導入や、再入院を防ぐための服薬管理や生活指導の強化が重要です。また病態、病期に応じて多職種(医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士など)による継続的なチーム医療の実践も重要です。これらを組み合わせて、患者さんの増加スピードを抑え、重症化や再入院を減らすことが目標とされます。

高齢化が進む日本においては、心不全は今後さらに増加することが予測されます。生活習慣を整え、予防や健康管理に心がけて、健康寿命を延ばしましょう。

新入職員紹介

A病棟3階看護師　水本　なつみ

6月からA病棟3階で看護師として勤務しています。これまで学んできた知識や技術を活かし、また先輩方の指導のもと、1日でも早くこの病院に慣れていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

A病棟3階介護福祉士　南　眞由美

6月15日からA病棟3階で、介護福祉士としてお世話になっています。介護業界で長年勤務してきましたが、ブランクがあることに加え、病院で働くのは初めての経験で、上司や先輩方にご指導いただきながら、日々学び、仕事を続けることができています。趣味は、泳ぐことと書店や文具コーナーを巡ることです。

B病棟3階ケアスタッフ　エー ミ ソー

6月からB病棟3階でケアスタッフとして勤務しております。まだ慣れないことも多いですが、先輩方に教えていただきながら日々努力しております。1日も早く業務を覚え、利用者の方に安心して過ごしていただけるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

B病棟3階ケアスタッフ　テイン テイン ライン

6月からB病棟3階で勤務しています。初めはわからないことも多く、緊張することもありましたが、少しずつ仕事の流れにも慣れてきました。これからも先輩方からたくさん学び、一つひとつの経験を大切にしながら成長していきたいです。患者さんに安心して過ごしていただけるよう、笑顔を忘れず、丁寧な対応を心がけて頑張ります。これからもよろしくお願いいたします。

介護医療院3階ケアスタッフ　サウン ニン プィン

6月から介護医療院3階でケアスタッフとして勤務しております。分からないことばかりでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、先輩方やスタッフの皆さんから学びながら、1日も早く業務を覚えてお役に立てるよう、精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いします。

医事課　高木　文香

6月より医事課で勤務しております。未経験の職種で覚えることも多く、日々勉強しております。周りの皆さんに教えていただいたことを大切にし、一つひとつできることを増やしていきたいと思います。患者さんやご家族に安心していただけるよう、笑顔と丁寧な対応を心掛けて頑張ります。これからよろしくお願いいたします。

医事課　山城　千明

この春、10年間暮らした沖縄から地元・佐世保へ戻り、6月より医事課へ配属となりました。祖母や父もお世話になった病院で、今度は自分が職員として働けることにご縁を感じています。事務員として、こころ温まる医療・看護・介護を提供するスタッフを支えていけるように頑張ります。

医療情報管理室　古川　貴嗣

6月より医療情報管理室に入職しました。初めての病院勤務で、まだまだ慣れないことも多くありますが、1日でも早く皆さんのお力になれるよう、一つひとつ学んでいきたいと思っております。これから多くのことを経験し、少しでも皆さんのお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

設備車両管理室　中里　雅士

6月より事務部総務課兼運転員として勤務しております。まだ慣れないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、少しずつ仕事を覚えて皆さんのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

新人フォローアップ研修会を開催しました。

7月18日に院内教育研修委員会の主催で、入社1年目の職員を対象とした「新人フォローアップ研修会」を開催しました。16名の職員が参加し、外部講師を招いて、社会人としての基本的なマナーや接遇について学びました。

参加者からは「患者さんやご家族に安心していただける対応の大切さを改めて実感しました」「学んだ内容を今後の業務に生かしたい」といった感想が聞かれました。

～面会について～

当院の面会は**2026年6月1日(月)**から
面会時間が**14:00～18:00**に変更となりました。

- **体調不良**の方は面会をご遠慮ください。
- 原則、**未就学児**の面会は不可となります。
- **飲食**は決められた場所でお願いいたします。
- **マスクの着用**を推奨いたします。
- 面会時は、各病棟の**面会簿へ必要事項の記入**をお願いいたします。

※2026年10月15日時点

令和８年 熊本地震被災地支援活動報告

―災害支援ナースとして、熊本地震の被災地へ―

2026年7月28日（火）に発生した地震により犠牲となられた方々に、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。今なお不安や困難の中で過ごされている皆様が、1日も早く安心して日々を過ごせるよう、心よりお祈り申し上げます。

8月9日から12日まで、当院看護師・竹野さんが「長崎県災害支援ナースの派遣に関する協定」に基づき、熊本市南区の指定避難所へ派遣されました。避難所では、被災された方々の健康管理や受診支援、心のケアをはじめ、避難者の安全を考えた環境整備、避難所の感染管理、多職種との連携など、避難生活を支えるさまざまな活動に携わりました。

現地に到着してまず感じたのは、「佐世保から3時間弱しか離れていない場所で、家に戻ることができず、日常生活もままならない方がこんなにもたくさんいる」という現実でした。実際に被災地に立つことで、災害が決して遠い場所で起こるものではないことを強く感じました。

院内報告会を行い、現地での経験を職員に共有し、学びにつなげました。

活動を終えて、改めて感じたのは「災害医療というものを、もっと知ってほしい」という想いです。災害は、決して遠い場所で起こるものではありません。今回の熊本での経験を通して、身近なところで起こっていることに少しでも心を寄せていただき、「もし自分たちの地域で起こったら」と考えるきっかけになればと思います。

緩和ケア病棟で夏祭りを開催しました！

8月8日（土）、緩和ケア病棟で夏祭りを開催しました。患者さんやご家族に夏を感じ、楽しい時間を過ごしていただけるよう、スタッフがはっぴ姿で各病室を訪問。夏祭りの音頭を流しながら、かき氷やヨーヨー等をお渡ししました。患者さんやご家族にもはっぴを着ていただき、一緒に写真撮影も行いました。病室にいながら夏祭りの雰囲気を楽しんでいただき、当日はたくさんの笑顔が見られました。患者さんの笑顔に、スタッフも元気をもらうひとときとなりました。

夏が終わっても油断できない!?

秋バテにご注意

こんな不調、ありませんか？

- □ 食欲がない
- □ 疲れやすい
- □ 体がだるい
- □ 頭がぼーっとする
- □ 朝すっきり起きられない
- □ 何事にもやる気が出ない

＼＼ １～２週間以上続くときは秋バテかもしれません！ ／／

秋バテの原因
なぜ起こるの？

- 昼夜の寒暖差による自律神経の乱れ
- 夏の間の疲れの蓄積
- 気圧の変化　など

秋バテ対策
どう予防する？

- 十分な睡眠
- ぬるめの湯船にゆっくり浸かる
- 適度な運動

管理栄養士おすすめ！

秋の食材を使った食事

さつまいもやキノコ類は腸内環境を整える食物繊維が豊富！
さんま、サバ、かつおに含まれるタンパク質やビタミンB群は疲労回復の効果あり秋に旬を迎える食材は、秋バテ対策にうってつけ！

緩和ケアのホームページをリニューアルしました！

「緩和ケアとはどのような医療なのか」「どのような方が利用できるのか」などを、より分かりやすくご紹介しています。不安や疑問をお持ちの方にも役立つ内容となっていますので、ぜひご覧ください。

閲覧方法　千住病院ホームページのトップページから、「各病棟・部門のご案内」にカーソルを合わせ、「緩和ケアとは?」をクリックしてください。

https://www.1010hosp.or.jp/kanwa.html

千住病院　緩和ケア

訪問リハビリテーションのご案内

訪問リハビリテーションでは、通院が困難な方のご家庭へ、理学療法士、作業療法士等が直接お伺いし、歩行練習、食事動作、コミュニケーションなどの日常生活に直結した練習を実施します。

◎開始までの流れ　自宅でのリハビリを行いたい! ➡ 担当のケアマネージャーに相談 ➡ 訪問リハビリ開始

ご対象者：介護保険利用者（要介護・要支援）
営　業　日：月曜日～金曜日（13:30～17:30）
休　業　日：土・日・祝祭日・盆休み（8/14～15）、年末年始（12/30午後、12/31、1/1～1/3）
サービス提供地域：佐世保市内（吉井・小佐々・宇久・江迎・鹿町を除く）

まずは担当のケアマネージャーに相談しましょう!!
問合せ先：TEL 0956（24）1010 千住病院　地域医療連携室

◆◇◆◇◆◇◆◇ 千住病院 外来担当医師のご案内 ◇◆◇◆◇◆◇◆

曜日＼診察時間	午　前 （受付8:30～12:00） 9:00～12:30	午　後 （受付13:30～16:00） 14:00～16:30
月曜日	福田　（脳神経内科） 卜部　（呼吸器内科）	千住（博）（緩和ケア内科　予約制） 外来担当医
火曜日	東　（糖尿病・内分泌内科） 須山　（呼吸器内科）	石田　（緩和ケア内科　予約制） 外来担当医
水曜日	卜部　（呼吸器内科） 井上　（消化器内科）	東　（緩和ケア内科　予約制） 外来担当医
木曜日	千住（博）　（呼吸器内科） 迫（ハザマ）（循環器科）	福田　（脳神経内科　予約制） 西川/中村（腎臓内科　予約制）
金曜日	金沢　（消化器内科） 佐藤　（循環器内科）	千住（千）（緩和ケア内科　予約制） 外来担当医
土曜日	鈴木　（呼吸器内科） 安達　（※SAS予約制） 非常勤医師	休診

★救急の患者さんは、24時間365日診療致します。　※2026年10月15日時点
※SAS：睡眠時無呼吸症候群

◆◇◆◇ 千住病院・千住ビル往復シャトルバス運行表 ◇◆◇◆

病院（宮地町）発	千住ビル（栄町）発
午　前	
	8:40
9:00 ／ 9:30	9:10 ／ 9:40
10:00 ／ 10:30	10:10 ／ 10:40
11:00 ／ 11:30	11:10 ／ 11:40
12:00 ／ 12:30	12:10 ／ 12:40

病院（宮地町）発	千住ビル（栄町）発
午　後	
13:00 ／ 13:30	13:10 ／ 13:40
14:00 ／ 14:30	14:10 ／ 14:40
15:00 ／ 15:30	15:10 ／ 15:40
16:00	

※2026年10月15日時点

※乗車される際のマスク着用、検温、手指消毒にご協力下さい。

■ 地域包括ケア病棟のお知らせ

地域包括ケア病棟とは？

急性期治療が終わり、症状が落ち着いた患者さんが、リハビリや看護を通して自宅や施設へ戻るための準備をお手伝いします。また、「訪問診療」を利用されている方や、「介護施設」で暮らしている方の体調が悪化し、入院治療が必要になった際、在宅医や施設からの依頼を受けていつでも安心してお迎えします。入院中は、医師や看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー（MSW）たちがひとつのチームとなり、地域の「訪問診療医」や「施設」のスタッフともしっかり連携しながら、退院後の生活を安心して送れるようサポートいたします。

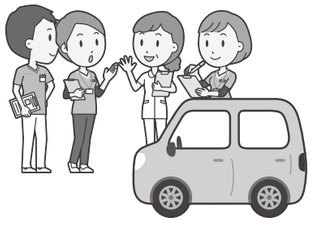
- **入院期間の目安：**基本的には60日以内となりますが、お体の状態に合わせて柔軟に調整します。
- **ご相談窓口：**入院をご希望の方やご質問がある方は、どうぞお気軽に「地域医療連携室」までお問い合わせください。

■ 介護医療院とは？

最期まで自分らしく、安心して暮らせる場所を。
2018年4月に開設した千住介護医療院（計75床）は、長期の医療と介護が必要な方のための“生活施設”です。

日常の医学管理や看取りの体制を整えつつ、リハビリや楽しいレクリエーション、お誕生日会などを通じて、我が家のような温かい暮らしをお届けします。医師、看護師、介護職員から歯科、栄養、リハビリの専門職まで、全員がワンチームとなって患者さんとご家族の明日を支えます。

■ 訪問看護・居宅介護支援のご案内



私たちの訪問看護では、住み慣れた我が家で安心して毎日を過ごせるよう、病状の観察や清潔を保つお手伝い、終末期のケア、そして24時間の緊急連絡対応を行っています。

さらに、専門のケアマネージャーも在籍しています。介護保険に関する疑問や、これからの生活への不安など、ご家族様だけで抱え込まずに何でもお話しください。いつでもお気軽にご相談をお待ちしております。

編　集　後　記

昨今のセキュリティの考え方の一つに、「ゼロトラスト」というものがあります。
サイバー攻撃への対策は、ある種「オレオレ詐欺」への対策に似ていると、私自身は考えています。
いずれもその本質は、「身内であっても、いったん本人かどうか確認する」という基本的な姿勢に通ずるものがあるのではないでしょうか。身内すら無条件に信頼できないという、なんとも悲しい話ではありますが…。

医療情報管理室　原